



drink technology India 2017

ファイナルレポート

世界飲料・液状食品技術見本市

2017年10月26日～28日

インド / ニューデリー

2017年11月6日

ニューデリーで素晴らしいスタート drink technology India 2017 業界で大ヒット

Summary

- 11,000 平米の展示スペースに 212 社が出展
- 業界全体から 9,699 人の来場者
- インドの飲料及び乳業業界にとって非常に大きな可能性

Facts & Data

会 期	2017年10月26日(木)～28日(土) 10時～18時 ※最終日のみ17時まで
会 場	インド・ニューデリー プラガティ・マイダン
主 催	Messe München GmbH - メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen India Pvt. Ltd. - メッセ・ミュンヘン・インド
後 援	VDMA - ドイツ機械工業連盟 食品加工・包装機械工業会
併 催	Indiapack / pacprocess、food pex India (主催:メッセ・デュッセルドルフ)
規 模	11,000 m ² (1ホール)
出 展 企 業	212社
来 場 者 総 数	9,699人
主 な 出 展 品	ビール・ワイン・蒸留酒・ソフトドリンク(乳飲料・清涼飲料)・液状食品製造加工機械・プラント、醸造・充填・衛生技術、製造加工自動化・制御・IT技術、原材料・フレーバー・添加剤、飲料容器洗浄・密閉・ラベル・識別技術・機械、プラスチック容器製造機械・原料、各種容器・包材、保管・貯蔵、物流搬送技術、リサイクル、水・廃水処理、エネルギーシステム、レストラン・ケータリング向け機器、ラボ技術、研究、各種サービス、業界団体・媒体 など
初 回 開 催	2007年
専 用 U R L	www.drinktechnology-india.com (英語)

ニューデリーで初開催された drink technology India は、好調なスタートを切った。インドの飲料・乳製品及び液体食品産業のためのスピンオフである当見本市は、プラガティ・マイダン会場の 11,000 平米もの展示面積を占めた。またメッセ・デュセルドルフが主催したパートナーイベントである indiapack も同時開催された。メッセ・ミュンヘンの副社長である Dr.ラインハルド・プファイファーは、成功した見本市に感銘を受け「ここニューデリーで初開催された当見本市が出展社や来場者に、とても人気があったことを嬉しく思っている。この結果は、インド飲料産業の計り知れない可能性を示している。年に一度インドの異なる地域で交互に開催することで、インドの飲料、乳製品、液体食品業界全体に対応できる完ぺきな条件を作り出した」と述べた。

期待は完全に満たされた

Weyermann 社のインターナショナル・カスタマー・コンサルタント Axel Jany 氏も見本市を称賛している一人だ。「当社はインドの飲料技術に数年間携わっており、ムンバイで常に大きな成果をあげてきた。インドは巨大市場であり、インドのパートナー企業のおかげでうまく機能している。当社が出展した目的は、新規顧客をこのデリーの見本市で見つけ出すことだった。当社ブースには多数の優れた来場者が訪れた」

HEUFT India 社のカントリーマネージャー Sandeep Adhikari 氏からも見本市につき良いコメントをもらった。「drink technology India の結果に非常に満足している。我々は新製品を展示し、業界関係者と多くの興味深い話をした。開催場所を変えて開催されるという事は、顧客により良いものをすぐに提供できるという事だ」

技術基盤の地位と業界推進力が固まる

11,000 平米の展示面積に 9,669 人が来場し、212 を数える出展社が飲料、食品及び包装産業の最新ソリューションと技術を展示した。このイベントは drink technology India が技術プラットフォームとしての地位を固め、またインドの飲料、乳製品、液体食品産業の原動力となった。

「我々の出展社は drink technology India でインド飲料業界での現在のニーズを満たすために考えられたソリューションと技術開発を展示した」とメッセ・ミュンヘン・インドの CEO であるブッピンダー・シンは述べた。

過去 10 年間で drink technology India はインド市場に定着しており、ビジネス取引を発展させる第一のプラットフォームであることが証明されている。ニューデリーでもこれが事実であることが証明された。この主張は、この見本市がトップクラスであると評価した出展社からも支持された。

ACE Technologies & Packaging System Pvt.社インドのディレクター Hari Menon 氏は非常に感銘を受け「drink technology India は何年にも渡って進化してきた。それは、ここニューデリーでも明らかだ。会場には多くの来場者が訪れ、見本市は非常によくオーガナイズされていた」と話した。

中国の Quinhuangdao Zhongde Industry CO. LTD.社 CEO である Guo Shourang 氏も同様の意見であった。

「drink technology India が来場書を引き付けるのは、インドの他業界見本市と別物だからである」と述べた。

pacprocess India、indiapack そして food pex India が同時開催されたという事実は、drink technology India の来場者にとっては、プラスの要因になった。

進化したビジネスプラットフォーム

見本市を異なる場所で毎年開催するという動きは、インドの飲料、乳製品、液体食品市場が成長しているという表れである。この見本市の目的は drink technology India のノウハウをインド全土に広め、インドの様々な地域の顧客に向け、より良いフォーカスを提供できるようにすることだ。

「ムンバイで長年にわたり発展してきたビジネスプラットフォームによって得た高い品質レベルは地域的な波及を目指しているのだ」と drinktec のディレクターであるペトラ・ヴェストパルは説明した。

「プラットフォームを展開し続けることで、顧客に新しい潜在的な可能性を提供し、インドの飲料、乳製品、液体食品業界に真の付加価値をもたらしている」と続けた。

drink technology India は、インドの飲料業界が目下抱えている問題に対するソリューションを紹介し、インド市場の需要と共有を満たすパートナーを一カ所に集めている。

重要な情報とネットワーキングプラットフォーム

来場者は、見本市と並行して開催された当日プログラムの中で食品、飲料、液体食品産業の現在と将来の傾向について学ぶ機会を得た。出展社と業界トップのマネージャーがじっくりと話す機会を持つことができるバイヤー・セラー・ミーティングが2回目の開催となった。

Globus Spirits 社、Jayanti Beverages 社、Pepsico 社、Pernod Ricard India 社、Ltd and Superior Spirits 社などが現地で会談を行った。

FSSAI セミナーでは、最新の食品安全及びライセンス認証と登録規則そして法令の概要について紹介した。このセミナーは、インドの保険・家族福祉省の一部また dti の新パートナーである食品安全基準管理局(FSSAI)によって開催された。

ユニークな見本市提供に付加価値

drink technology India は、現在メッセ・デュッセルドルフが主催する indiapack、food pex、pacprocess India と連動して毎年開催される予定だ。飲料技術、乳製品及び液体食品に関連する包装産業(drink technology India)、包装と関連プロセス(pacprocess India)、包装資材及び補助材と製造機械・技術(indiapack)、食品・菓子加工と包装(food pex India)の計4つの見本市が連携し、同じ屋根の下で開催されることは、インドで他に類を見ない。2017年のニューデリー開催に続いて、来年はムンバイに場所を移して開催される。

次回の drink technology India は2018年10月24日～36日、ムンバイのボンベイ会議・展示場(Bombay Convention & Exhibition Centre)にて開催される。詳細は www.drinktechnology-india.com まで。

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語/ドイツ語)